

平成 27 年第 10 回 議会運営委員会

【日時】平成 27 年 8 月 25 日(火)午前 10 時

【場所】第 1 委員会室

1 開会

2 委員長挨拶

3 協議事項

(1) 第 3 回定例会提出議案の概要について

資料 No. 1・2

理事者側提出議案 41 件

ア 報告案件 2 件

イ 人事案件 1 件

ウ 条例案件 9 件

エ 一般案件 7 件

オ 予算案件 7 件

カ 決算認定 15 件

(2) 議案の取り扱いについて

資料 No. 3・4

ア 議案の取扱い

イ 報告案件、人事案件に対する質疑通告の提出期限（8/28（金）17 時）

(3) 第 3 回定例会の日程について

資料 No. 5・5-2

ア 定例会の日程

イ 各通告の提出期限 監査報告に対する質疑通告（8/31（月）正午）

決算認定議案に関する資料請求（9/2（水）15 時）

一般質問通告（9/2（水）17 時）

(4) 一般質問の時間配分について

会派名	所定時間	質問者数	質問者名及び質問時間		
会派のぞみ	360 分	人	分	分	分
			分	分	分
			分	分	分
日本共産党	120 分	人	分	分	分
会派みらい	120 分	人	分	分	分
公明党	120 分	人	分	分	分
市民パワー	120 分	人	分	分	分

※開始時間 9 月 9 日（水）：午前 10 時、9 月 10 日（木）：午前 9 時

(5) 第4回定例会の日程について

資料 No. 6

(6) 委員会インターネット映像配信の試行について

資料 No. 7

(7) 平成27年度議会報告会について

資料 No. 8

(8) 平成27年度議会による行政評価について

資料 No. 9

4 その他

(1) 当面の日程

ア	9月9日(水)	中日議運	午前9時～
イ	9月29日(火)	閉会日議運	午前9時～

5 閉会

総括	
報告案件	2件
人事案件	1件
条例案件	9件
一般案件	7件
予算案件	7件
決算認定	15件
計	41件

案件の概要

報告第30号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて） 【平成27年6月10日に発生した市道管理の瑕疵による物的損害に係る賠償額を8,400円と定め、平成27年7月6日に専決処分したもの。】
報告第31号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について 【地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき健全化判断比率等を報告するもの。】
議案第98号	飯田市松尾地区財産区管理委員の選任について 【委員3人の辞任に伴い新たに委員を選任したいとするもの。】
議案第99号	飯田市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について 【行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、飯田市が保有することとなる特定個人情報の開示手続等について必要な事項を規定するため、条例の一部を改正しようとするもの。】
議案第100号	飯田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について 【地籍図又は地番図の写しの交付の手数料に係る取扱いを変更するため、条例の一部を改正しようとするもの。】
議案第101号	飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について 【地方税法等の改正により、市民税の申告書その他の様式に個人番号に係る記載事項を追加することとされたことに対応するため、条例の一部を改正しようとするもの。】
議案第102号	飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について 【下久堅に地域振興住宅を新たに設置するため、条例の一部を改正しようとするもの。】
議案第103号	飯田市個人番号の利用等に関する条例の制定について 【行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、同法に基づく事務を行う上での飯田市の責務、飯田市が個人番号を独自に利用する事務、飯田市が行う特定個人情報の情報連携等について必要な事項を規定するため、新たに条例を制定しようとするもの。】
議案第104号	飯田市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について 【個人番号カードに印鑑登録証としての機能を持たせるため、条例の一部を改正しようとするもの。】
議案第105号	飯田市地域子育て支援拠点施設条例の制定について 【旧大堤保育園園舎を公の施設として位置づけるとともに、指定管理者による管理を行わせることについて必要な事項を規定するため、条例の一部を改正しようとするもの。】
議案第106号	飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について 【子どもに係る給付金の支給対象者の範囲を15歳までから18歳までに拡大するため、条例の一部を改正しようとするもの。】
議案第107号	飯田市営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について 【市営住宅等の管理を長野県住宅供給公社に行わせること等に伴い、必要な事項を規定するため、条例の一部を改正しようとするもの。】

議案第108号	工事請負契約の一部変更について（現庁舎耐震改修建築工事） 【耐震改修建築工事の内容の変更により契約金額を増額したいとするもの。変更前728,481,600円 変更後788,724,000円】
議案第109号	工事請負契約の締結について（現庁舎耐震改修機械設備工事） 【契約金額 162,648,000円 契約の相手方 株式会社シノダ設備】
議案第110号	工事請負契約の締結について（周辺施設整備建築工事） 【契約金額 302,400,000円 契約の相手方 勝間田建設株式会社】
議案第111号	市道路線の変更について 【三遠南信自動車道建設に伴う路線の変更 1路線】
議案第112号	公の施設の指定管理者の指定について（市営住宅等及び共同施設等） 【長野県住宅供給公社を市営住宅等及び共同施設等の指定管理者として、平成28年4月1日から平成33年3月31日までの間、指定したいとするもの。】
議案第113号	平成26年度飯田市病院事業剰余金の処分について 【新地方公営企業会計制度への移行処理により生じた資本剰余金及び未処分利益剰余金について、資本金への組入れを行いたいとするもの。】
議案第114号	平成26年度飯田市水道事業剰余金の処分について 【新地方公営企業会計制度への移行処理により生じた資本剰余金の一部及び未処分利益剰余金について、減債積立金への積立又は資本金への組入れを行いたいとするもの。】
議案第115号	平成27年度飯田市一般会計補正予算（第2号）案【歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ52,300千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ43,830,290千円とする。】
議案第116号	平成27年度飯田市一般会計補正予算（第3号）案【歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ98,114千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ43,928,404千円とする。】
議案第117号	平成27年度飯田市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案【歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ25,594千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4,369,494千円とする。】
議案第118号	平成27年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）案【歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ500千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ682,900千円とする。】
議案第119号	平成27年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計補正予算（第1号）案 【歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,279千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ135,079千円とする。】
議案第120号	平成27年度飯田市病院事業会計補正予算（第1号）案 【資本的収入の予定額に41,300千円、資本的支出の予定額に111,894千円をそれぞれ追加する。】
議案第121号	平成27年度飯田市水道事業会計補正予算（第1号）案 【収益的収入の予定額に20,000千円、収益的支出の予定額に40,000千円をそれぞれ追加し、資本的支出の予定額に46,000千円を追加する。】
議案第122号	平成26年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について
議案第123号	平成26年度飯田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第124号	平成26年度飯田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第125号	平成26年度飯田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第126号	平成26年度飯田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第127号	平成26年度飯田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第128号	平成26年度飯田市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第129号	平成26年度飯田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

議案第130号	平成26年度飯田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第131号	平成26年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第132号	平成26年度飯田市上村デイサービスセンター特別会計歳入歳出決算認定について
議案第133号	平成26年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第134号	平成26年度飯田市病院事業決算認定について
議案第135号	平成26年度飯田市水道事業決算認定について
議案第136号	平成26年度飯田市各財産区会計歳入歳出決算認定について

平成27年度一般会計歳入歳出補正予算(第2号)案について

1 補正額	5,230万円	
2 主な内容		
・6月30日～7月1日豪雨及び7月16日～17日台風11号豪雨による災害復旧		
道路	31カ所(南信濃9、上村7、千代4、伊賀良3、川路2、三穂2、山本2ほか)	20,600 千円
林道	53カ所(上村23、南信濃21、千代6、丸山3)	12,300 千円
河川	16カ所(龍江5、山本3、川路2、三穂2、伊賀良2ほか)	9,800 千円
農業施設	17カ所(山本6、千代3、伊賀良3、南信濃3、龍江2)	7,400 千円
農地	6カ所(千代2、山本2、伊賀良2)	2,200 千円

総括(歳入) 単位:千円

款	補正前の額	補正額	計	補正額の主な内容
11 分担金及び負担金	853,414	660	854,074	農地単独災害復旧事業分担金
18 繰越金	729,911	44,940	774,851	純繰越金
20 市債	4,258,100	6,700	4,264,800	公共土木施設災害復旧 5,100 農業施設等災害復旧 1,300 林道災害復旧 300
歳入合計	43,777,990	52,300	43,830,290	

総括(歳出) 単位:千円

款	補正前の額	補 正 額	計	補 正 予 算 額 の 財 源 内 訳				補 正 額 の 主 な 内 容
				特 定 財 源			一 般 財 源	
				国県支出金	地 方 債	そ の 他		
11 災害復旧費	4,300	52,300	56,600		6,700	660	44,940	土木施設単独災害復旧 30,400 林道単独災害復旧 12,300 農業施設等単独災害復旧 9,600
歳 出 合 計	43,777,990	52,300	43,830,290	0	6,700	660	44,940	

平成27年度一般会計歳入歳出補正予算(第3号)案について

- 1 補正額 9,811万4千円
- 2 主な内容
- ・新産業クラスター事業 5,000万円
 - ・飯喬道路関連事業 2,155万円 ・社会資本整備総合交付金事業(道路整備) 1,496万円
 - ・森林病虫害対策事業 960万円 ・林道改良事業(補助) 828万円
 - ・埋蔵文化財調査事業(県) 651万円 ・埋蔵文化財調査事業(単独) 186万円
 - ・防災・安全交付金事業(道路整備) △3,220万円 ・橋りょう長寿命化修繕 △2,220万円 ・道整備交付金 △1,700万円

総括(歳入) 単位:千円

款	補正前の額	補正額	計	補正額の主な内容
11 分担金及び負担金	854,074	300	854,374	道路改良事業負担金(広域連合分)
13 国庫支出金	4,828,712	44,831	4,873,543	地域住民生活等緊急支援のための交付金 50,000 合併推進体制整備事業補助金 26,000 個人番号カード交付事業費補助金 1,861 私立幼稚園就園奨励費補助金 240 社会資本整備総合交付金(道路整備) △24,770 道整備交付金 △8,500
14 県支出金	2,758,500	19,426	2,777,926	文化財保護委託金(埋文発掘) 6,512 松林健全化推進事業補助金 6,135 民有林林道改良事業補助金 4,222 外国人旅行者受入環境整備事業補助金 3,000 地籍調査事業補助金 △2,147
16 寄附金	16,000	118	16,118	図書館寄附金 100 療育事業寄附金 18
17 繰入金	860,681	3,000	863,681	ふるさと基金繰入金
18 繰越金	774,851	69,783	844,634	純繰越金
19 諸収入	2,375,139	3,656	2,378,795	上村ダイサービスセンター特別会計決算剰余金 2,169 全国市有物件災害共済補てん金 1,400 埋蔵文化財調査受託事業収入 87
20 市債	4,264,800	△ 43,000	4,221,800	合併特例債 △25,200 公共事業等債 △15,600 過疎対策事業債 △3,100
歳入合計	43,830,290	98,114	43,928,404	

平成27年度一般会計歳入歳出補正予算(第3号)案について

総括(歳出)

単位:千円

単位:千円

款	補正前の額	補 正 額	計	補 正 予 算 額 の 財 源 内 訳			補 正 額 の 主 な 内 容	
				特 定 財 源				一 般 財 源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他		
02 総務費	5,204,431	7,892	5,212,323	1,861		3,000	3,031	市民協働推進事業 3,000 シティプロモーション推進事業 2,800 社会保障・税番号制度事業 2,092
03 民生費	14,139,168	5,730	14,144,898	270	1,800	18	3,642	上村デイ洗面台設置 1,998 民間保育所施設整備事業 1,761 臨時福祉給付金精算 1,413
04 衛生費	5,136,422	8,090	5,144,512				8,090	保健施設ろ過装置修繕負担金 6,362 りんご並木風車撤去 1,728
06 農林水産業費	1,285,575	22,114	1,307,689	9,644	3,700		8,770	森林病虫害対策事業 9,601 林道改良事業(補助) 8,280 畜産施設整備支援事業補助金 5,443
07 商工費	2,439,469	64,157	2,503,626	53,000		1,400	9,757	新産業クラスター事業 50,000 南信濃観光施設管理 6,124 海外誘客促進事業 3,000 観光施設整備事業 2,220 上村観光施設管理 2,013
08 土木費	4,868,065	△ 22,678	4,845,387	△ 33,270	△ 23,800	300	34,092	防災・安全交付金(道路整備) △32,197 橋りょう長寿命化修繕 △22,200 道整備交付金 △17,000 飯倉道路関連事業 21,550 社会資本整備(道路整備) 14,955
09 消防費	1,311,889	924	1,312,813				924	災害対策一般経費
10 教育費	3,631,627	11,885	3,643,512	32,752	△ 24,700	187	3,646	埋蔵文化財調査(県) 6,512 埋蔵文化財調査(単独) 1,856 上郷公民館測量 1,545 文化財保護補助金 674
歳 出 合 計	43,830,290	98,114	43,928,404	64,257	△ 43,000	4,905	71,952	

平成27年飯田市議会第3回定例会 議案一覧表

9月1日上程分

◎ 報告議案 (2件)	
報告第30号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)
報告第31号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

◎ 即決議案 (1件)	
議案第98号	飯田市松尾地区財産区管理委員の選任について

平成27年飯田市議会第3回定例会 付託議案一覧表

9月1日上程分

【分割付託分】

◎ 分割付託議案 (3件)	
議案第115号	平成27年度飯田市一般会計補正予算(第2号)案
議案第116号	平成27年度飯田市一般会計補正予算(第3号)案
議案第122号	平成26年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について

【一括付託分】

◎ 総務委員会付託議案 (13件)	
議案第99号	飯田市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
議案第100号	飯田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議案第101号	飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第102号	飯田市中心部地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第103号	飯田市個人番号の利用等に関する条例の制定について
議案第104号	飯田市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第108号	工事請負契約の一部変更について(現庁舎耐震改修建築工事)
議案第109号	工事請負契約の締結について(現庁舎耐震改修機械設備工事)
議案第110号	工事請負契約の締結について(周辺施設整備建築工事)
議案第119号	平成27年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計補正予算(第1号)案
議案第127号	平成26年度飯田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第128号	平成26年度飯田市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第133号	平成26年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計歳入歳出決算認定について

◎ 社会文教委員会付託議案 (11件)	
議案第105号	飯田市地域子育て支援拠点施設条例の制定について
議案第106号	飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について
議案第113号	平成26年度飯田市病院事業剰余金の処分について
議案第118号	平成27年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）案
議案第120号	平成27年度飯田市病院事業会計補正予算（第1号）案
議案第123号	平成26年度飯田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第124号	平成26年度飯田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第125号	平成26年度飯田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第131号	平成26年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第132号	平成26年度飯田市上村デイサービスセンター特別会計歳入歳出決算認定について
議案第134号	平成26年度飯田市病院事業決算認定について

◎ 産業建設委員会付託議案 (11件)	
議案第107号	飯田市営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について
議案第111号	市道路線の変更について
議案第112号	公の施設の指定管理者の指定について（市営住宅等及び共同施設等）
議案第114号	平成26年度飯田市水道事業剰余金の処分について
議案第117号	平成27年度飯田市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案
議案第121号	平成27年度飯田市水道事業会計補正予算（第1号）案
議案第126号	平成26年度飯田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第129号	平成26年度飯田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第130号	平成26年度飯田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第135号	平成26年度飯田市水道事業決算認定について
議案第136号	平成26年度飯田市各財産区会計歳入歳出決算認定について

議案第115号 平成27年度飯田市一般会計補正予算（第2号）案
付 託 表

【総務委員会】

1 歳入

款	項	目	議案頁
18 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	8
20 市債	1 市債	11 災害復旧債	8

2 歳出

なし

3 地方債補正

【産業建設委員会】

1 歳入

款	項	目	議案頁
11 分担金及び負担金	1 分担金	11 災害復旧費分担金	8

2 歳出

款	項	目	議案頁
11 災害復旧費	1 農林水産施設災害復旧費	10 農林単独災害復旧事業費	10
	2 公共土木施設災害復旧費	10 土木施設単独災害復旧事業費	10

議案第116号 平成26年度飯田市一般会計補正予算（第3号）案
付 託 表

【総務委員会】

1 歳入

款	項	目	議案頁
13 国庫支出金	2 国庫補助金	2 総務費国庫補助金	10
17 繰入金	2 基金繰入金	1 基金繰入金	12
18 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	12
20 市債	1 市債	3 民生債	14
		6 農林水産業債	14
		8 土木債	14
		10 教育債	14

2 歳出

款	項	目	議案頁
2 総務費	1 総務管理費	2 広報広聴費	18
		5 自治振興費	18
	3 戸籍住民基本台帳費	2 住民記録費	18
4 衛生費	1 保健衛生費	5 環境保全費	22
9 消防費	1 消防費	5 災害対策費	32

3 債務負担行為補正関係分

4 地方債補正

【社会文教委員会】

1 歳入

款	項	目	議案頁
13 国庫支出金	2 国庫補助金	10 教育費国庫補助金	10
14 県支出金	2 県補助金	3 民生費県補助金	10
	3 委託金	10 教育費委託金	12
16 寄附金	1 寄附金	3 民生費寄附金	12
		10 教育費寄附金	12
19 諸収入	4 受託事業収入	10 教育費受託事業収入	14
	5 雑入	1 雑入（関係分）	14

2 歳出

款	項	目	議案頁
3 民生費	1 社会福祉費	2 社会援護費	20
		4 老人福祉費	20
		8 臨時福祉給付金給付費	20
	2 児童福祉費	4 発達支援センター費	20
		5 民間保育所費	20
	3 生活保護費	1 生活保護費	22
4 衛生費	1 保健衛生費	1 保健衛生総務費	22
10 教育費	1 教育総務費	2 事務局費	32
	5 社会教育費	1 社会教育総務費	32
		3 文化財保護費	32
		5 図書館費	34

【産業建設委員会】

1 歳入

款	項	目	議案頁
11 分担金及び負担金	2 負担金	8 土木費負担金	10
13 国庫支出金	2 国庫補助金	8 土木費国庫補助金	10
14 県支出金	2 県補助金	6 農林水産業費県補助金	10
		7 商工費県補助金	12
19 諸収入	5 雑入	1 雑入（関係分）	14

2 歳出

款	項	目	議案頁
6 農林水産業費	1 農業費	4 農業振興費	22
		6 畜産業費	24
		9 国土調査事業費	24
	2 林業費	2 林業振興費	24
7 商工費	1 商工費	4 観光費	26
		5 工業振興費	26
8 土木費	2 道路橋りょう費	3 道路新設改良費	28
		4 橋りょう維持費	30
	3 河川費	2 河川維持費	30
		3 河川改修費	30

3 債務負担行為補正関係分

議案第122号 平成26年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について
付 託 表

【総務委員会】

1 歳入

款	項	目	議案頁
1 市税			18
2 地方譲与税			20
3 利子割交付金			20
4 配当割交付金			20
5 株式等譲渡所得割交付金			20
6 地方消費税交付金			20
7 自動車取得税交付金			22
8 地方特例交付金			22
9 地方交付税			22
10 交通安全対策特別交付金			22
11 分担金及び負担金	2 負担金	2 総務費負担金	24
12 使用料及び手数料	1 使用料	2 総務費使用料	28
		4 衛生使用料関係分	30
	2 手数料	2 総務手数料	34
		4 衛生手数料	34
	3 証紙収入		36
13 国庫支出金	2 国庫補助金	2 総務費国庫補助金	40
		3 民生費国庫補助金関係分	40
		4 衛生費国庫補助金関係分	42
		9 消防費国庫補助金	44
	3 委託金	2 総務費委託金	46
		3 民生費委託金関係分	46
14 県支出金	2 県補助金	2 総務費県補助金	50
		4 衛生費県補助金関係分	52
		9 消防費県補助金	56
	3 委託金	2 総務費委託金	58
15 財産収入	1 財産運用収入	1 財産貸付収入関係分	60
		2 利子及び配当金	62
		3 基金運用収入関係分	62
	2 財産売払収入	1 不動産売払収入関係分	64
16 寄附金	1 寄附金	2 総務費寄附金	64
		4 衛生費寄附金	66
		9 消防費寄附金	66
17 繰入金	2 基金繰入金	1 基金繰入金	68
18 繰越金	1 繰越金		68
19 諸収入	1 延滞金、加算金及び過料		68
	2 市預金利子		68
	5 雑入	1 雑入関係分	72
20 市債			86

2 歳出

款	項	目	議案頁
1 議会費	1 議会費		94
2 総務費	1 総務管理費	1 総務管理費	96
		2 広報広聴費	104
		3 財産管理費	106
		4 車両管理費	106
		5 自治振興費	108
		6 自治振興センター費	112
		7 男女共同参画推進事業費	114
		8 秘書費	116
		9 企画費	118
		10 人事管理費	122
		11 交通安全費	124
		12 交通安全施設費	126
		13 情報管理費	126
		14 会計管理費	130
		15 地域交流センター費	132
		17 リニア推進事業費関係分	132
	2 徴税費		134
	3 戸籍住民基本台帳費		138
	4 選挙費		142
	5 統計調査費		150
	6 監査委員費		152
3 民生費	1 社会福祉費	2 社会援護費関係分	158
		6 国民年金費	176
4 衛生費	1 保健衛生費	4 環境衛生費	236
		5 環境保全費関係分	238
	2 清掃費		248
9 消防費	1 消防費		356
12 公債費	1 公債費		450
13 諸支出金	1 積立金		452
14 予備費	1 予備費		454

【社会文教委員会】

1 歳入

款	項	目	議案頁
11 分担金及び負担金	2 負担金	3 民生費負担金	24
		10 教育費負担金	28
12 使用料及び手数料	1 使用料	3 民生使用料	28
		4 衛生使用料関係分	30
	2 手数料	10 教育使用料	32
		10 教育手数料	36
13 国庫支出金	1 国庫負担金	3 民生費国庫負担金	36
		4 衛生費国庫負担金	38
	2 国庫補助金	3 民生費国庫補助金関係分	40
		4 衛生費国庫補助金関係分	42
		10 教育費国庫補助金	44
	3 委託金	3 民生費委託金関係分	46
		10 教育費委託金	48
	14 県支出金	1 県負担金	3 民生費県負担金
4 衛生費県負担金			50
2 県補助金		3 民生費県補助金	50
		4 衛生費県補助金関係分	52
		10 教育費県補助金	56
3 委託金		3 民生費委託金	58
		10 教育費委託金	60
15 財産収入		1 財産運用収入	1 財産貸付収入関係分
	3 基金運用収入関係分		62
16 寄附金	1 寄附金	3 民生費寄附金	64
		10 教育費寄附金	66
19 諸収入	3 貸付金元利収入	3 民生費貸付金元利収入	70
		10 教育費貸付金元利収入	70
	4 受託事業収入	3 民生費受託事業収入	70
		10 教育費受託事業収入	72
	5 雑入	1 雑入関係分	72

2 歳出

款	項	目	議案頁
3 民生費	1 社会福祉費	2 社会援護費非所管分及び 6 国民年金費 を除く	152
	2 児童福祉費		182
	3 生活保護費		210
4 衛生費	1 保健衛生費	1 保健衛生総務費	224
		2 母子保健事業費	228
		3 成人保健事業費	232
10 教育費	1 教育総務費		364
	2 小学校費		370
	3 中学校費		382
	4 幼稚園費		392
	5 社会教育費		394
	6 保健体育費		438

【産業建設委員会】

1 歳入

款	項	目	議案頁
11 分担金及び負担金	1 分担金	6 農林水産業費分担金	22
		11 災害復旧費分担金	24
	2 負担金	6 農林水産業費負担金	26
		7 商工費負担金	26
		8 土木費負担金	28
12 使用料及び手数料	1 使用料	6 農林水産業使用料	30
		7 商工使用料	30
		8 土木使用料	30
	2 手数料	6 農林水産業手数料	34
		8 土木手数料	36
13 国庫支出金	1 国庫負担金	11 災害復旧費負担金	38
	2 国庫補助金	4 衛生費国庫補助金関係分	42
		7 商工費国庫補助金	42
		8 土木費国庫補助金	44
	3 委託金	8 土木費委託金	48
14 県支出金	2 県補助金	4 衛生費県補助金関係分	52
		5 労働費県補助金	54
		6 農林水産業費県補助金	54
		7 商工費県補助金	56
		8 土木費県補助金	56
		11 災害復旧費県補助金	58
	3 委託金	5 労働費委託金	60
		6 農林水産業費委託金	60
		8 土木費委託金	60
15 財産収入	1 財産運用収入	1 財産貸付収入関係分	60
	2 財産売払収入	1 不動産売払収入関係分	64
16 寄附金	1 寄附金	7 商工費寄附金	66
17 繰入金	1 財産区繰入金	1 財産区繰入金	66
19 諸収入	3 貸付金元利収入	5 労働費貸付金元利収入	70
		6 農林水産業費貸付金元利収入	70
		7 商工費貸付金元利収入	70
	4 受託事業収入	6 農林水産業費受託事業収入	72
	5 雑入	1 雑入関係分	72

2 歳出

款	項	目	議案頁
2 総務費	1 総務管理費	17 リニア推進事業費関係分	132
4 衛生費	1 保健衛生費	5 環境保全費関係分	238
		6 水道費	248
5 労働費	1 労働諸費		256
6 農林水産業費	1 農業費	1 農業委員会費	260
		2 農業総務費	264
		3 農政対策費	264
		4 農業振興費	270
		6 畜産業費	274
		7 農地費	274
		9 国土調査事業費	280
		10 農業施設費	282
	2 林業費		282
7 商工費	1 商工費	1 商工総務費	294
		2 商業振興費	294
		3 金融対策費	296
		4 観光費	298
		5 工業振興費	312
		6 まちづくり推進費	318
8 土木費	1 土木管理費		320
	2 道路橋りょう費		322
	3 河川費		338
	4 都市計画費		344
	5 住宅費	1 住宅管理費	352
		2 建築指導費	354
		3 住宅建設費	354
11 災害復旧費	1 農林水産施設災害復旧費	1 農業施設等災害復旧費	448
		2 林道災害復旧費	448
		10 農林単独災害復旧事業費	448
	2 公共土木施設災害復旧費		450

平成27年飯田市議会第3回定例会

資料番号
№ 5

会期 自 平成27年9月1日 29日間
至 平成27年9月29日

日 程 表

月	日	曜日	日 程
9	1	火	開 会 平成27年9月1日 午前10時 開 議 日程第1 会議成立宣言 日程第2 会期の決定 日程第3 議案説明者出席要請報告 日程第4 会議録署名議員指名 日程第5 市長挨拶 日程第6 定期監査報告 日程第7 委員長報告 常任委員会（閉会中の所管事務調査） （1）総務委員会 （2）社会文教委員会 （3）産業建設委員会 日程第8 報告（2件） 報告第30号及び報告第31号 （報告第31号は日程順序を変更） 日程第9 議案審議 （1）即決議案（1件） 議案第98号 説明、質疑、討論及び採決 （2）委員会付託議案（38件）及び報告（1件） 議案第99号から議案第136号まで 報告第31号 説明、質疑及び委員会付託 議案第115号 総務委員会 第1委員会室 産業建設委員会 第1委員会室 委員長報告、質疑、討論及び採決 散 会

第2日以降日程予定表

月	日	曜日	日	程
9	2	水	一般質問通告締め切り	午後5時まで
	3	木	市長へ一般質問通告	午後3時まで
	4	金		
	5	土		
	6	日		
	7	月		
	8	火		
	9	水	議会運営委員会	午前9時 第1委員会室
			午前10時 開議 日程第1 会議成立宣言 日程第2 会議録署名議員指名 日程第3 一般質問 延 会	
	10	木	午前9時 開議 日程第1 会議成立宣言 日程第2 会議録署名議員指名 日程第3 一般質問 日程第4 議案審議 (1) 追加議案 (件) あれば ア 委員会付託議案 議案第 号から議案第 号まで 説明、質疑及び委員会付託 日程第5 請願、陳情上程 (請願 件 陳情 件) あれば 委員会付託 散 会	
	11	金		
	12	土		
	13	日		
	14	月	総務委員会	午前9時 第1委員会室
	15	火	社会文教委員会	午前9時 第1委員会室
	16	水	社会文教委員会	午前9時 第1委員会室
	17	木	産業建設委員会	午前9時 第1委員会室
	18	金	産業建設委員会	午前9時 第1委員会室
	19	土		
	20	日		
	21	月		
	22	火		
	23	水		
	24	木	委員会予備日	

9	25	金	リニア推進特別委員会	午前10時	第1委員会室
	26	土			
	27	日			
	28	月			
	29	火	議会運営委員会 午前9時 第1委員会室 午前10時 開議 日程第1 会議成立宣言 日程第2 会議録署名議員指名 日程第3 委員長報告 日程第4 議案審議 (1) 委員会付託議案 委員長報告、質疑、討論及び採決 (2) 追加議案（あれば） ア 委員会付託議案 議案第 号 説明、質疑及び委員会付託 委員長報告、質疑、討論及び採決 イ 議会議案 議会議案第 号から議会議案第 号まで 質疑、討論及び採決 日程第5 請願、陳情上程（あれば） 委員会付託 閉 会		

牧野飯田市長の訪欧について

1 往訪先及び目的

シャルルヴィル・メジエール市における AVIAMA に出席するとともに、世界人形劇フェスティバルを視察するため。

また、この機会に併せ、イタリアとドイツの関係先・関係催事の訪問や視察を行い、国際親善を深めるとともに、ヨーロッパの状況を見聞し、当地域が掲げる「小さな世界都市」づくりの参考にする。

(1) イタリア

- ① ミラノ ミラノ国際博覧会視察（当市出身の建築家北川原温氏が日本館を設計）
- ② ウルム市前副市長ヴェッツヒ氏と面会（この 5 月に退任。同氏はイタリアに滞在中）
- ③ イタリアの事例視察

(2) ドイツ

- ① ウルム市 ウルム市訪問
- ② ウルム市 現地企業を訪問

(3) フランス

- ① シャルルヴィル・メジエール市 AVIAMA 出席
- ② シャルルヴィル・メジエール市 世界人形劇フェスティバル視察

2 行程

訪欧期間：平成 27 年 9 月 20 日（日）～9 月 28 日（月）

9/20 午前 成田空港発→夜 イタリア着（ミラノ泊）

9/21 ミラノ ミラノ国際博覧会視察（ミラノ泊）

※ウルム市前副市長との面会

9/22 イタリア事例視察（ミラノ泊）

9/23 朝 イタリア発→昼 ドイツ着、ウルム市訪問（ウルム泊）

9/24 ウルム 現地企業訪問、夕方 ドイツ発→夜 フランス着（空港付近泊）

9/25 昼前 シャルルヴィル・メジエール市着、AVIAMA 会長と面会

（シャルルヴィル・メジエール泊）

9/26 世界人形劇フェス 及び AVIAMA（シャルルヴィル・メジエール泊）

9/27 シャルルヴィル・メジエール発→（空港へ移動）→夕方 フランス発（機内泊）

9/28 昼 成田空港着

平成27年飯田市議会第4回定例会 会議日程(案)

月	日	曜日	日 程	備 考
11	17	火	告示・議運(午前10時)	
	18	水	請願・陳情締切り(午後5時)	
	19	木		
	20	金		
	21	土		
	22	日		
	23	月		
	24	火		
	25	水	全協(午前10時)	
	26	木	開会(午前10時)	
	27	金	代表・一般質問通告締切り(午後5時まで)	
	28	土		
	29	日		
	30	月	市長へ代表・一般質問通告(午後3時まで)	
12	1	火		
	2	水		
	3	木		
	4	金		
	5	土		
	6	日		
	7	月	議運(午前9時)・代表質問(午前10時)	
	8	火	代表質問・一般質問(午前10時)	
	9	水	一般質問(午前9時)	
	10	木	総務委員会(午前10時)	
	11	金	社会文教委員会(午前10時)	
	12	土		
	13	日		
	14	月	産業建設委員会(午前10時)	
	15	火	委員会予備日	
	16	水	リニア推進特別委員会(午前10時)	
	17	木		
	18	金	議運(午前9時)・閉会(午前10時)	

平成 27 年 8 月 25 日

飯田市議会
議長 木下克志 様

議会改革推進会議
委員長 原 和世

リニア推進特別委員会のインターネット映像配信試行について

平成 27 年第 2 回定例会会期中、6 月 24 日に映像配信試行対象となるリニア推進特別委員会が開催され、その映像を録画して当推進会議で検証しました。

検証を踏まえて、下記のとおり進めますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

記

1 検証対象の会議

6 月 24 日開催 リニア推進特別委員会（平成 27 年飯田市議会第 2 回定例会）

2 映像の検証結果について

（１）会議において個人情報に触れる等懸念された部分はなかった。

（２）映像を見て気づいた点（留意すべき点）

ア. 映像では、発言がはっきり聞こえない場合があった。

座席のマイクに近づいて話す。

イ. 視聴する側が気になる雑音があった。具体的には、ペンのノック音。

天井のマイク感度が良く、雑音や私語が入る。視聴者へのマナーとして気をつけるべきであり、議員と執行部側の会議出席者が自覚し、当事者間でも注意を促す必要がある。

3 試行する前提として

（１）個人情報保護のため、最大限の配慮をすること。

（２）個人情報について発言する必要がある場合は、あらかじめ委員長に申し出て、対応を協議してもらう。リスクを軽減するよう配慮すること。

（３）映像配信するユーストリームの性質上、ライブ映像を配信した場合、会議が中断すると映像も中断され、続きの会議映像配信開始までの情報が視聴者には伝わらない。視聴者に考慮し、なるべく会議が中断しないように配慮する。

4 議会改革推進会議の今後の対応

（１）試行期間と予定

9 月と 12 月定例会中 2 回のリニア推進特別委員会の映像配信を行い、試行とする。（ライブ映像配信及び録画配信）

27 年度末に試行期間の検証をまとめて提出予定。

（２）試行の内容

ア. 個人情報の保護、不適切発言の対応の問題点を明らかにする。

イ. 運営、運用上の問題点等、試行の中で実施に向けた判断材料を集め、インターネット映像配信に向けた課題を整理する。

平成27年度 議会報告会開催要領（案）

1 趣旨

飯田市自治基本条例に規定されている、「開かれた議会運営」また「議会への市民参加の推進」を果たすための取組と位置付け、議会報告会を起点に市民の声を政策づくりに反映できるように取り組むことを目的とする。

2 主催／共催

飯田市議会／各地区まちづくり委員会

3 時期

平成27年10月1日（木）～10月8日（木）

4 内容及び時間

テーマ「平成27年度議会報告会 ～市民の声が反映できるまちを目指して～」

会議/時間	内 容
全体会 19：00-19：15 〔15分間〕	※ 総合進行〔広報広聴副委員長〕 開会のことば〔広報広聴委員長〕 議長挨拶〔議長〕 ・議会改革を含む議会活動報告、議会報告会を起点とした政策づくりの流れについて〔議長〕 ・自治基本条例の配布、啓発 全体会終了後、分科会会場に移動
分科会 19：20-20：40 〔80分間〕	時間配分は分科会ごと正副委員長にお任せする。 第1部〔常任委員会報告〕〔昨年度は概ね30分程度〕 ・報告会開催前1年間の定例会における主な議案審査状況報告 ・平成26年度の議会報告会における市民意見等に基づく調査研究結果の報告、回答 ・行政評価における市民意見等の反映状況報告 第2部〔分科会ごとの意見交換会〕〔昨年度は概ね50分程度〕 ・テーマに基づく意見交換 分科会終了後、全体会会場へ移動
	第1分科会（総務委員会） テーマ「どのような地域にしていきたいですか。 ～若い人たちに何を残しますか～」
	第2分科会（社会文教委員会） テーマ「病気になった時、病院や診療所の『かかりつけ医』は持っていますか ～子どもから高齢者まで、『健康で安心して暮らせるまちづくり』をめざして～」
	第3分科会（産業建設委員会） 次の2つのうち、1つをブロックごとに設定 テーマ1「みんなで考えよう！『若者が帰って来られる仕事づくり、地域で働く人づくり』とは」 テーマ2「地域資源を生かし、地域経済や地域の活性化を図るには」

全体会 20：45-21：00 〔15分間〕	まちづくり委員会代表挨拶（感想、御意見等） 分科会の概要及び謝辞〔議長〕 閉会のことば〔副議長〕
-------------------------------------	--

5 開催日程等

ブロック	地 区	開催日	会 場
竜 東	下久堅 上久堅 千代 龍江	10月1日（木）	龍江公民館
中 部	松尾 竜丘 川路 鼎	10月2日（金）	松尾公民館
西 部	三穂 山本 伊賀良	10月5日（月）	伊賀良公民館
北 部	座光寺 上郷	10月6日（火）	上郷公民館
飯田5地区	橋北 橋南 羽場 丸山 東野	10月7日（水）	羽場公民館
遠 山	上村 南信濃	10月8日（木）	上村コミュニティセンター

- (1) 全議員が全てのブロックへ出席し、所属する常任委員会に関する分科会に参加する。
- (2) 事務局は6ブロック全てに出席する。（分科会への出席は担当者）
- (3) 都合で欠席する場合は、委員長又は事務局へ必ず連絡を行う。
- (4) まちづくり委員会向けの開催要領にも出席する議員名を記載し事前に周知する。
- (5) まとめの全体会において、まちづくり委員会の代表1人から感想、御意見等の言葉をいただく。どなたに行っていただくかは、まちづくり委員会で調整を依頼する。

6 当日の役割分担（記録は開催日順）

分科会	担 当 議 員	
第1分科会 〔総務委員会〕	説明	（委員長）吉川秋利
	進行	（副委員長）古川 仁
	記録	木下徳康（竜東）、熊谷泰人（中部）、木下容子（西部）、山崎昌伸（北部）、林 幸次（飯田）、井坪 隆（遠山）
第2分科会 〔社会文教委員会〕	説明	（委員長）新井信一郎
	進行	（副委員長）清水可晴
	記録	竹村圭史（竜東、飯田）、福沢 清（中部・遠山）、後藤荘一（西部）、中島武津雄（北部） 村松まり子
第3分科会 〔産業建設委員会〕	説明	（委員長）永井一英
	進行	（副委員長）湊 猛
	記録	湯澤啓次（竜東・遠山）、森本政人（中部）、小倉高広（西部）、清水 勇（北部）、原 和世（飯田）

※ 原則として、分科会における「説明」は常任委員長が、「進行」は副委員長が担当し、「記録係」は（ ）内のブロックを担当する。記録係は昨年度と同じブロックの担当とならないようにずらして議席番号順に割り当て。

- (1) 会場への集合時間は原則18時とし、会場準備を行う。委員会で事前に会議や準備をする場合は、集合時間より前に行うこととする。
- (2) 会場準備は、受付設営、看板の掲示、机椅子の配置、分科会の案内表示等を行うとともに、受付時には、受付簿の記載、資料・アンケートの配布などを協力して行う。
- (3) 分科会の進行及び説明は正副常任委員長が担当し、分科会の記録は「記録係」が担う。
- (4) 記録の担当となった議員は、市民から出された意見、要望、提言などの要点を簡条書きで記録するとともに、報告会終了後一週間以内に「議会報告会記録書」を事務局へ提出する。

- (5) 分科会における意見交換会用の資料については、当該常任委員会の判断で、当日配布する。
- (6) 副委員長は、意見交換会の主な意見（要旨）を3つ程度箇条書にしたメモを、分科会後の全体会の前に議長に手渡す。
- (7) 議長は分科会後の全体会において、分科会からのメモに基づき分科会の様子を紹介する。

7 市民から出された意見等への対応と取扱い

- (1) 二元代表制としての議会の役割を発揮できるように心がける。
- (2) 受付時に資料とともにアンケートを配布し、後日集計を行いまちづくり委員会に報告する。
- (3) 分科会では、常任委員会ごと活動報告を行い、内容に対する意見・要望を出してもらう。
- (4) 常任委員会における「調査・研究」の経過報告については、議会報告会における委員会活動報告の中で行う。
- (5) 分科会における意見交換会は、結論を出す場ではなく、課題等を共有する場と位置づけ、意見や感想等を出してもらう。
- (6) 市の執行機関に対する質疑については、基本的には聞き置き、要望、意見については執行機関に伝える。
- (7) 議会に対する質問については、可能な限り議会として責任を持って回答する。また、議会に対する意見、要望は全ブロック取りまとめ、後日、まちづくり委員会へ報告する。
- (8) 議会としてこれまでに議決した案件や確認してきている事項等については、会派や議員個人の見解は避け、議会を構成する一員として良識ある言動に努めるものとする。

＊リニアに関する意見・要望への対応（第1、第3分科会は、意見要望が出る可能性あり）

「リニア中央新幹線に関する現状について把握するため、市議会では特別委員会を設置して、市側からリニアに関連する工事や整備に関する計画や事業の進捗状況等について報告や説明を受け、市議会としても調査研究し、必要に応じて提言している。市民の皆さんからの意見、要望等については広く伺いながら、特別委員会での審議や、市への提言の中で市民の声として反映していきたい。」という立場で臨む。

・詳細な工事進捗については、飯田市の説明を聞いていただくようにする。要望については、回答せずに伺う。意見交換会でどうしても説明が必要な場合、各常任委員会に所属する、リニア推進特別委員会の委員が、委員会での審議状況等話せる範囲での説明を行う。

- (9) 意見交換会における意見等の中から「問題発見」を行い、所管の委員会において、特に取り上げて解決すべきものや実現すべき問題を「課題設定」する。その上で、「調査・研究」の対象としたものについては、「問題分析」をして政策立案につなげる。
- (10) 課題設定をした意見等の中で、調査・研究は行わないものの、「引き続き、情報収集に努める」としたものについては、行政評価の評価対象として組み入れる。
- (11) 市民から出された意見・要望・提言等のその後の取扱結果については、各まちづくり委員会へ報告し情報の共有化を図っていく。

8 分科会会場及び駐車場について

(1) 分科会会場 【開催日順】

ブロック	会場	全体会	第1分科会	第2分科会	第3分科会
竜東	龍江公民館	大会議室	大会議室	講義室1・2	視聴覚室
中部	松尾公民館	ホール	ホール	和室1・2	講座室
西部	伊賀良公民館	講堂	講堂	大会議室	第1会議室
北部	上郷公民館	205会議室	205会議室	204会議室	103会議室
飯田5地区	羽場公民館	大会議室	大会議室	講義室	研修室
遠山	上村コミュニティセンター	大会議室	大会議室	研修室	和室

※分科会会場は変更する場合がある。

(2) 駐車場

ブロック	場 所
竜東	龍江公民館駐車場 (JAの駐車場)
中部	松尾公民館駐車場 (松尾小学校職員駐車場)
西部	伊賀良公民館駐車場 (伊賀良小学校 サブグラウンド)
北部	上郷公民館駐車場 (JA上郷支所駐車場)
飯田5地区	羽場公民館駐車場 (羽場曙友会、労働基準協会駐車場)
遠山	上村自治振興センター駐車場 (議員はマイクロバス移動)

*参加する市民の皆さんに会場に近いメインの駐車場を使ってもらえるようにする。

*会場周辺の駐車場は、借用する状況により調整が必要。

9 分科会へ出席するための目安

(1) 第1分科会 (総務委員会)

所管部署	分 野	まちづくり委員会等(目安)
○総務部 ○総合政策部 ○リニア推進部 ○市民協働環境部 ○危機管理室 ○選挙管理委員会 ○監査委員	○地域自治 ○男女共同参画 ○リニア中央新幹線 ○環境 ○防災 ○交通安全 ○選挙	○自治・地域振興関係委員会 ○生活安全関係委員会 ○消防団 ○日赤奉仕団 ○環境関係委員会など

(2) 第2分科会 (社会文教委員会)

所管部署	分 野	まちづくり委員会等(目安)
○健康福祉部 ○病院事業 ○教育委員会	○保健 ○福祉 ○介護 ○医療 ○学校教育 ○公民館	○健康福祉関係委員会 ○民生児童委員 ○福祉関係団体 ○公民館 ○小中学校PTA ○青少年健全育成関係委員会 ○保育園保護者会など

(3) 第3分科会 (産業建設委員会)

所管部署	分 野	まちづくり委員会等(目安)
○産業経済部 ○建設部 ○上下水道局 ○水道局 ○農業委員会	○産業振興 ○労政 ○農業 ○林業 ○商業 ○工業 ○市街地活性化 ○観光 ○土木 ○建設 ○都市計画 ○公園管理・道路愛護 ○上下水道	○自治・地域振興関係委員会 ○財産区など

10 当日準備品

レジュメ、配布資料、アンケート、受付簿、次第書、看板、筆記用具、カメラ、ICレコーダー、名札、問答例など

※分科会配布資料は各担当により準備

11 その他

(1) まちづくり委員会向けの開催要領を作成するとともに、所長会及びまちづくり委員会連絡会において協力を依頼する。

(2) 議会報告会の周知については、チラシを作成し組合回覧により参加を呼びかける(9月15日頃の配布を予定)。

- (3) 議会報告会用の資料は別途作成し、当日、参加者へ配布する。
- (4) 分科会への参加人数のバランスについては、自治振興センターの所長と調整し配慮していく。
- (5) 議会報告会終了後は、各委員会で報告会の反省・総括を行うとともに、各分科会での意見や参加者アンケートを踏まえ、年度内に平成28年度の開催方針を決定する。

12 分科会意見交換会におけるテーマについて

第1分科会（総務委員会）

テーマ	どのような地域にしていきたいですか。 ～若い人たちに何を残しますか～
テーマに係る課題（背景）	第6次（次期）基本構想基本計画の基となるような、市民との意見交換を行いたい。
意見交換会で話し合いたい点	今年度、総務委員会が重点的に取り組みを行いたい項目として、 ①「空き家対策」 ②「ポイ捨て等環境問題」 ③「防災対策」 を挙げています。 これらの視点から、どんな地域にしたいと考えているのか、そのためにどんなことが課題なのか、市民の皆さんからの意見をお聴きし、意見交換させていただきます。

第2分科会（社会文教委員会）

テーマ	病気になった時、病院や診療所の『かかりつけ医』は持っていますか ～子どもから高齢者まで、『健康で安心して暮らせるまちづくり』をめざして～
テーマに係る課題（背景）	・「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が成立し、高齢化が進行する中で、社会保障制度を将来も維持していくために、医療・介護提供体制の構築や、医療・介護を対象とした新たな税制支援制度の確立、地域包括ケアシステムの構築などを行い、地域における医療と介護の総合的な確保を推進する法律が施行されました。今後は、地域における医療と介護の連携がますます重要になります。また、病院の機能分化が進められる中、市民意識はどうか、市民との意見交換を行い、課題を明らかにする。 ・昨年開催した議会報告会『元気で長生きする健康寿命都市を目指して』をテーマとした経緯を踏まえ、病気等万が一の時どうするか、子どもから高齢者まで市民の現状を把握し、治療体制を検証する。 ・介護に至った時の連携はどうか、地域包括ケアシステムの構築を目指し、委員会での管外視察地先進事例と飯田・下伊那圏域の実態を把握して、将来、医療と介護の連携のまちづくりに取り組む。
意見交換会で話し合いたい点	高齢化が進行する中で、地域における医療と介護の連携がますます重要になります。また、「市立病院とかかりつけ医」のように、病院の機能分化が進められる中、市民の皆さんはこの地域の医療や介護に関してどう感じ、どう考えているか、身近な事例から意見交換させていただきます。 ・病気になった時、かかりつけ医を持っていますか。 ・救急車を呼ぶ時（プライバシーなど）気にしますか。 ・検診で再検査と言われた時、どうされますか。また検診体制はどうですか。 ・市立病院の役割をご存知ですか。 ・地域の病院・診療所について思うことはありますか。

	・在宅での医療体制は充実していますか。 ・在宅での介護体制は充実していますか。 ・在宅での看護(子どもや高齢者の) はどうしていますか。 ・病児病後児保育は利用していますか。 ・発達障害者の早期発見と対策について、子ども発達支援センター開設をご存知ですか。 ・認知症の知識は持っていますか ・看取りについてどうお考えですか
--	---

第3分科会（産業建設経済委員会）

テーマ	次の2つのうち、1つをブロックごとに設定 1 みんなで考えよう！「若者が帰って来られる仕事づくり、地域で働く人づくり」とは 2 地域資源を生かし、地域経済や地域の活性化を図るには
テーマに係る課題（背景）	テーマ1 日本は既に人口減少時代に突入し高齢化社会を迎えているが、飯田市においては、それ以上のスピードで人口が減少し、高齢化が進むと予想されている。人口が減れば、働き手が減り、消費も減り経済の縮小などにつながるるとともに、地域のコミュニティの担い手も減ることで、地域の活力が失われていく。また、若い人が地域から流出することで、将来的に高齢者の医療・介護などを支えていくことも難しくなっていく。 飯伊地域を毎年卒業する高校生の内、約300人前後は地域内へ就職するが、全体の70～75%に当たる高校生は進学や就職のため地域外へ転出する。そして、一旦地域を離れた高校生の内、300～350人ほどが地域に戻って就職しており、高卒就職者を含めた地元への回帰率は40%前後となっている。 こうした現状の下、一人でも多くの若者が地域で働き続けられる、また、一旦は地域を離れた若者が再び地域に戻って働けることが地域にとって最大の課題となっている。 このような状況は、全国的に見ても地方においては同じような傾向で、現状を打破するため地方創生の取組みがスタートしている。飯田市においても、今年度中に人口の将来展望である「飯田市人口ビジョン」と、これを基に新たな雇用創出や移住の促進など、飯田市の特性に応じた具体的な施策と目標を盛り込んだ「地方版総合戦略」の策定に取り掛かっている。 テーマ2 以前から、自然環境や農産物などの地域資源を活用し、地域の活性化を図る必要性は共有され、取組もなされてきた。 しかし、地域資源をほかの地域にない魅力や価値にまで高める取り組み、さらに地域資源が活用されることで地域や地域経済が活性化されるまでには至っていない。 国で示された「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」においても、地方創生の深化を目指す取り組みの一つとして、地域資源の活用が掲げられている。また、県において示された施策展開の方向性（中間とりまとめ）においても「地域資源を徹底的に活用する県づくり」が掲げられている。 今までも行ってきた地域資源を生かす取り組みを、さらに飛躍発展させるためには何が必要か。ともに考えたい。

意見交換会で 話し合いたい点	テーマ１ ・ U・J・I ターンの推進について。 ・ 高速交通網時代を見据えた職業や働き方について。 ・ 地域で働く人を増やすにはどのような業種や職種の充実が必要と考えますか。 ・ 企業・市民・行政それぞれの立場から、あるいは連携して、この地域に帰って来たい、また働き続けたいと考える若者に対してどのような支援策が考えられますか。 テーマ２ ・ 各地区における地域資源活用保全の取組の現状や課題について。 ・ 地域資源をほかの地域にない魅力や価値にまで高める取り組み、さらに地域資源が活用されることで地域や地域経済が活性化されるためには、どのような活動が必要と考えますか。 ・ そのために必要な行政の役割と支援をどのように考えますか。
-------------------	--

平成 26 年度決算認定に係る 施策及び事務事業に対する提言（案）

飯田市議会

平成26年度 決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【総務委員会】

No.	施策名	区分 No.	事 務 方 事 向 業 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	事務事業名			
	情報共有の促進	92		
1	広報番組制作放送事業	43-6	やり 改 善 方	・どの程度の市民が視聴しているのか、成果指標はアンケートによる10%であるが、その検証がされていない。 ・検証の結果により更なる視聴率の向上を目指すべきである。 ・緊急放送への対応を目指すとするれば、視聴率の向上は不可欠である。
2	良質な行政サービスの提供	93		・施策全体の総合的な評価として、「ある程度進んだ」としているが、目標の達成状況については、進んでいるとは評価しづらい。 ・上位政策「市民と共に進める行政経営」を実現するために、何が問題であって、何をしようとしているのかがはっきりしない。 ・「サービス業のプロ」という発想には違和感がある。 ・市民の満足度をどのように把握するかが課題である。 ・研修参加の職員アンケートの満足度指標は自己満足であって、成果として現れるべき「職員の資質の向上」は市民が判断することである。
3	職員研修事業	3-2	やり 改 善 方	・職員研修会に参加する職員の割合は年々低下をしており、研修のテーマ、やり方に改善が必要である。 ・成果指標は、研修参加の職員アンケートによる満足度で判断するべきでない。 ・頻発する交通事故や違反の対策のための研修が必要である。 ・他機関への派遣研修や民間との交流研修についても検討されたい。
	効率的、効果的な行財政運営	94		
4	入札、契約業務	4-2	やり 改 善 方	・課題としてきた「総合評価落札方式」については検証のまとめを行い、改革を進められたい。 ・必要であれば県で実施している「電子入札制度」を検討すべきである。 ・より多くの業者が参加し、公平な入札、落札ができるよう早急に検討されたい。
5	行政評価システム運営事業	7-7	やり 改 善 方	・行政評価も8年を経過する中、マンネリ化が危惧され、施策の評価は、事務事業との関連が反映されているとは言えない。 ・成果指標には妥当性を欠くものもあり、指標のあり方を徹底的に見直さなければPDCAサイクルを回すことはできない。 ・改革提案に「引き続き検討する」という表記が多くあるが、これは改革提案とは言えない。 ・次年度に生かされるシステムと言えるか疑問である。

平成26年度 決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【総務委員会】

No.	施策名		区分 No.	事 務 方 向 業 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	事務事業名				
	市民参画による協働の促進		91		
6		総合的な空き家対策事業	14-19	拡大	・条例が制定されたが、所有者としての責任が根本にあることを確認する必要がある。 ・「管理不全対策と跡地利用の支援」といったこの条例の効果を見ていく必要がある。 ・「空き家化の予防と活用・流通の促進」といった観点では、予防措置として重要であり、羽場地区での活動などを参考に全市に展開されたい。
	中山間地域振興の推進		85		
7		地域振興住宅整備事業	14-14	現状維持	・やり方改善の意見も多くあったが必要な事業でもあり、現状維持とした。 ・建設地の確保のための支援を行うと共に、空き家対策との連携も検討されたい。
	交流による高付加価値化・国際化の推進		81		
8		大学とのネットワーク構築事業	7-4	やり方改善	・大学間のネットワーク構築は進んでいると判断するが、フィールドスタディだけでなく、大学の知見が地域にどのように生かされているかを成果として表す必要がある。 ・大学の知見、研究成果が地域に生かされ、人材育成や定住につながるような仕組みを構築されたい。
9		リニア推進事業	8-1	やり方改善	・リニア推進ロードマップの3本柱のうち柱2の「社会基盤整備関連」は、本事業と切り分けて進めることは良いが、柱3の「戦略的地域づくり」も見方が異なり、本事業と区別すべきである。 ・ブランディング事業とプロモーション事業とも連携しながら推進されたい。
	交通機関と道路の充実		44		
10		市民バス等運行事業	8-2	現状維持	・人口減少が進む中、利用者が増加していることについては、評価できる。 ・路線ごとの検証をし、市民ニーズを取り入れることで、より一層効率的な運用に努められたい。
	地域情報・課題の相互理解の推進		71		

平成26年度 決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【総務委員会】

No.	施策名	区分 No.	事 務 方 事 向 業 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	事務事業名			
11	自治活動組織加入促進支援事業	14-3	やり 改 善 方	・組合加入については、防災、減災の視点からの働きかけも必要とされ、長年の課題となっている。 ・現状を見る中で、加入する必要性を感じない、または負担に感じる世代も散見される。 ・世代別の加入状況のアンケート調査などから、意識改革を更に進めるのか、あるいは組合に頼らない手立てについて検討されたい。
	自然とのふれあいと環境学習の推進	54		
12	地域環境活動支援事業	19-21	やり 改 善 方	・事業の組み立て段階から検討不足と判断する。 ・25年度からの問題点の改善もなく、市民団体や事業所の活動が見えない。 ・このままでは事業のあり方を問われる。
	廃棄物の減量と適正処理	56		
13	家庭生ごみ分別収集推進事業	19-26	現維 状持	・現状において多くの問題点があり、縮小の意見が多くあったが、事業としては来年度縮小ということにもならないので、現状維持とする。 ・事業が開始された当初と社会情勢も変化しており、市内の一部地域に約1,500万円の事業費を投じることには問題がある。 ・事業の見直しを行い、新しい方向性を検討されたい。
14	不法投棄対策事業	19-29	やり 改 善 方	・市民への周知、意識の高揚を図るよう行政はもっと主体性をもって対処されたい。 ・不法投棄の件数・量の減少という、この事業の成果を明確にするとともに、不法投棄されやすいものの特別回収を検討されたい。
	社会の低炭素化の推進	57		
15	もりのエネルギー利用推進事業	20-6	現維 状持	・対象が市民となっているが、木質バイオマス機器の導入には価格、季節的な課題がある。 ・活用は公共施設や事業者に重点を置かざるを得ない現状がある。 ・域内燃料を使ってCO₂の削減をするという目標を明確にされたい。
16	省エネルギー推進事業	20-19	現維 状持	・市全体の温室効果ガス削減量では市民意識を高めるような具体的な指標とは言えず、市民の関心も高まっていない。 ・成果指標もこの事業による成果を示しているとは言えず、具体的な省エネ住宅改修件数などとするべきである。
17	新エネルギー推進リーディング事業	20-11	拡 大	・上村の小沢川における小水力発電の事業の研究について、ここまでの地道な取り組みを集約し、早急に「再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくり条例」に基づく事業認定を行い、地域と共に実効性を上げるべきである。
	災害対策の推進	41		

平成26年度 決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【総務委員会】

No.	施策名	区分 No.	事の 務方 事向 業性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	事務事業名			
18	災害情報等提供システム整備事業	44-4	やり方改善	- 市民の安全安心という観点から、多くのシステムで対応することは重要である。 - 緊急告知FMラジオシステムの導入を検討されたい。
19	災害対策事業	44-5	やり方改善	- 防災無線の運用については、市民から聞き取りにくいとの苦情が多数寄せられており、また、老朽化の問題も指摘されている中、実質的な進展が見られない。 - 緊急性のあるテーマで拡大という意見もあったが、拡大するための基本計画が定かでない。 - 緊急時に一人でも多くの市民に情報提供できるように、更新計画を早期に策定されたい。
20	消防団運営事業	44-10	やり方改善	- 長年の懸案事項となっているが、該当する人口の減少ばかりでなく、意識も変わってきている。 - 啓発活動もこの点を踏まえ、女性消防団員を視野に入れた、制服の検討、トイレの改修などの検討も必要である。 - 正規団員の確保は重要であるが、企業の消防組織やOBとの連携についても検討を深める必要がある。
評価対象数	施策	1		・19事務事業の方向性 「拡大」……………2…………No.6・17 「やり方改善」…12…………No.1・2・4・5・8・9・11・12・14・18・19・20 「現状維持」…………5…………No.7・10・13・15・16 「縮小」……………0 「廃止」……………0
	事務事業	19		
	計	20		

平成26年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【社会文教委員会】

施策・事務事業の区分	No.	の事務 方向 事業 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
施策名及び事務事業名			
義務教育の充実	22		○課題認識:概ね正しい。○目標達成度:一定の成果を上げている。 ・飯田市らしい地域特性を活かした、コミュニティースクールの構築を検討されたい。また、家庭環境による教育格差が生じないよう、学習ボランティア等、学習コーディネーター配置、サポート。また、公教育現場の負担軽減を併せ、配慮いただきたい。 ・就学前の子育てにおける家庭教育を含む、幼保小連携の政策を検討されたい。 ・小学校の不登校児童増加の原因等の分析を行い、対策に取り組まれたい。
学力向上支援事業		現状維持	・全国学力学習状況把握の実施とPDCAサイクルによる指導により、さらなる学力向上に努められたい。 - また、10分間ドリルや読書など学習意欲が増し、勉強心が向上する取組みをさらに工夫されたい。
高等教育の充実	23		○課題認識:概ね正しい。○目標達成度:一定の成果を上げている。ただし、教育への家庭環境による格差の現状把握が課題。 ・すべての生徒が将来に向けて学べる環境を保障し、地域の企業との連携のとれた人材育成をさらに強化されたい。 ・奨学金制度の拡充と篤志寄付を募る取り組みも検討されたい。 ・飯伊8高校へキャリア教育の展開をされたい。
家庭教育の充実	24		○課題認識:概ね正しい。○目標達成度:一定の成果を上げている。 ・基本的生活習慣を高めるために、PTAをとおして家庭教育の重要性を啓発されたい。 ・青少年のSNS利用に対する対応を、家庭、学校での指導を強化されたい。
スポーツの振興	26		○課題認識:概ね正しい。○目標達成度:一定の成果を上げている。ただし、スポーツ施設整備の要望は高い。 ・老朽化した施設の中・長期的な改修計画を早急に示し、修繕の必要な施設は市民ニーズに応えられたい。 ・市民要望の強い、グラウンドの芝生化に、市民協働で取り組まれたい。

平成26年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【社会文教委員会】

施策・事務事業の区分	No.	の事務 方向 事業 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
施策名及び事務事業名			
学習交流活動の推進	28		○課題認識:概ね正しい。○目標達成度:一定の成果を上げている。 ・地域の公民館がさらに地域特性を活かし、利用者が増える企画と運営を市民協働で取組まれたい。 ・新しい情報や学習交流の場を、現在の図書館機能を検証しつつ、複合型(カフェなど)学習交流の場づくりを検討されたい。
ふるさと意識の醸成	29		○課題認識:概ね正しい。○目標達成度:一定の成果を上げている。 ・自然・歴史的価値を見出し、シティープロモーションとして、メディア媒体を有効活用した情報発信に取り組むとともに、あらためてふるさと意識の喚起につなげる取り組みをされたい。
高校生等次世代育成事業		拡大	・飯田下伊那すべての高校へ水平展開をし、人材育成、人材確保をされたい。
心と体の健康づくり	31		○課題認識:概ね正しい。○目標達成度:一定の成果を上げている。ただし、特定健診の受診率低下は課題。 ・特定健診の受診状況を把握し、特定健診の受診率向上に取り組まれたい。 ・地域健康ケア計画の着実な取り組みを展開し、健康づくり+10の普及啓発に取り組まれたい。
医療の充実	32		○課題認識:概ね正しい。○目標達成度:一定の成果を上げている。 ・地域医療・介護総合確保推進法に基づき、今後の病院の病床数の推移を注視するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療関係者と連携し、積極的に取り組まれたい。 ・かかりつけ医制度を市民に周知し、医療の機能分化に取り組まれたい。 ・飯田下伊那診療情報システムism-Linkを地域医療機関の協力のもとに活用を推進されたい。 ・看護・介護職の確保に取り組まれたい。

平成26年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【社会文教委員会】

施策・事務事業の区分		No.	の事務 方向 事業 性業	施策及び事務事業に対する議会の提言
施策名及び事務事業名				
共に支えあう地域福祉の推進		33		○課題認識:概ね正しい。○目標達成度:一定の成果を上げている。 ・医療と介護の連携による、地域包括ケアシステムの構築と、地域の実情に合ったきめ細やかな、地域福祉計画の策定・運用に取り組まれない。 ・地域ごと作成された、助け合いマップの実効性ある活用をされたい。
高齢者福祉の推進		35		○課題認識:概ね正しい。○目標達成度:安心して暮らせている高齢者の割合及びいきいき暮らせている高齢者の割合が減少傾向にあることから、ある程度進んだとの市側の評価が正しいとは言い切れない。状況を把握し、今後の推移を見守られたい。 ・認知症対策を含めた介護予防の充実に取り組まれない。
	高齢者生きがい推進事業		やり方改善	・高齢者の生涯学習活動の場を、市全体で検討し、例えば公民館事業として展開できるよう事業の統廃合を検討されたい。
	認知症対策総合推進事業		拡大	・認知症地域支援体制の構築により、認知症の理解度を深め、社会全体で見守るため、キャラバンメイトやサポーター制度の確立と支援を拡充をされたい ・認知症の徘徊等見守り訓練を地域あげて取り組まれない。
生活困難者の自立及び支援		36		○課題認識:概ね正しい。○目標達成度:一定の成果を上げている。 ・生活困窮者自立支援制度の着実な推進に取り組まれない。 ・生活保護から自立できるよう、必要な支援措置を拡充されたい。

平成26年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【社会文教委員会】

施策・事務事業の区分		No.	の 事 方 向 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
施策名及び事務事業名				
子どもを産み育てやすい環境の充実		37		○課題認識：概ね正しい。○目標達成度：一定の成果を上げている。 ・「こども家庭応援センター」の運用を検証されたい。 ・保育料金等の段階的軽減をさらに充実されたい。
地域資産の保存・継承		63		○課題認識：概ね正しい。○目標達成度：一定の成果を上げている。 ・橋北まるごと博物館構想、座光寺恒川官衙遺跡、無形民俗文化財や、ユネスコ・エコパーク、ジオパーク等、地域の理解を得て取り組むとともに、市民への普及啓発と地域の魅力発信に取り組まれたい。
	施策	13		
	事務事業	4		
	計	17		

平成26年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【産業建設委員会】

施策・事務事業の区分	No.	事務 方向 事業性	施策及び事務事業に対する議会の提言
施策名及び事務事業名			
支え、育む産業基盤づくり	11		○方向性と評価は概ね正しいが、次の事項を課題と考える。 ・事業所数や飯田市地方卸売市場の取扱数量が減っている。地場商業者の沈下が懸念される。 ・搬出間伐の面積が減少しており対応策が必要である。 ・施策1-1から1-3は相互に関連しあっており、事務事業レベルの整合性を明確にするとともに、地方創生の視点からあらためて見直し、改善が必要である。 (提言) ・観光政策については、飯田市観光振興ビジョン推進のロードマップを関連団体とともに策定し、進行管理されたい。 ・事業所数や飯田市地方卸売市場の取扱数量が減少しており、地場商業の衰退が懸念されるので、早急な対策を打ち出されたい。
雇用対策事業	25-5	やり 方 改善	・福祉的側面に重点を置く事業は、別事業とし福祉課の所管とされたい。 ・カウンセリングから職業紹介まで、また就職に関する様々なサービスの提供など、雇用のミスマッチ対策に積極的に取り組まれたい。 ・ジョブカフェいいだは利用効果が見られている。対象年齢を45歳未満まで拡大することを検討されたい。 ・新規高卒者への求職情報の発信など企業とも連携し積極的に進められたい。
耕作放棄地解消事業	26-4	やり 方 改善	・耕作放棄未然防止策、耕作地の統合拡大、栽培作物の検討、担い手に農業法人、企業参入を考慮するなど、「耕作放棄地解消」を主目的とした政策の下に事業体系を再構築されたい。 ・前年度に実施された耕作放棄地現地調査の結果を有効活用されたい。 ・地域の課題として取り組む必要が有ることから、まちづくり委員会と情報共有するなど協力を求めること。
産業用地整備事業	30-13	現 状 維 持	・地方創生の視点から、スピード感を持った用地整備に取り組まれたい。
中小企業経営安定支援事業	31-4	やり 方 改善	・産業政策に欠かせない基礎データを得る場として、企業訪問活動を積極的に行い、中小企業の現状、課題に対する情報収集機能を強化されたい。 ・補助制度等の相談日については、最低月2回は取り組まれたい。

平成26年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【産業建設委員会】

施策・事務事業の区分	No.	事務 方向 業性	施策及び事務事業に対する議会の提言
施策名及び事務事業名			
未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化	12		○施策全体として「ある程度進んだ」との評価だが、もう少し厳しいのではないかと。本施策は極めて重要なテーマを含んでおり、更なる効果を発揮させるため事務事業の個々の取組の中で、見直し改善の余地がある。 ・地域ブランド化の推進を最も重要な産業政策の一つと位置づけ、複数の施策の中で総合的に展開されたい。例えば食文化として「焼肉」を推奨するとすれば、店舗数の多さだけでなく、味とサービス、地場産の肉にこだわるなど焼肉を地域文化にまで高めるような仕掛けをされたい。 ・学輪IIDAの知見と地場産業のコラボを進められたい。 ・この地域の資源として技能労働者の育成に取り組まれたい。
技能技術伝承事業 (旧技能褒賞運営事業)	25-2	拡大	・「技能技術伝承事業」となっているが、実態は「褒賞」が中心となっている。当地域で育まれている技能に関する現状分析を行い、技能褒賞から技能労働者の育成事業にシフトされたい。
農業振興センター事業	26-8	やり改善 方	・補助金交付事業が大半を占めている。一つひとつの補助事業の事業評価を行われたい。 ・耕作放棄地対策は、農業振興センターにおいて市全体を見据えた包括的な取組みをされたい。 ・農業者全体の育成支援とともに、特に認定農業者を増やすための育成支援に積極的に取り組まれたい。
果樹・野菜等振興事業	26-10	やり改善 方	・補助対象の推奨品種が数年来固定されている。ブドウ等への拡大を含め見直しを検討されたい。
飯田の木で家を建てるプロジェクト事業	27-25	やり改善 方	・今までにこの事業を活用した工務店や建築主に対してアンケート調査を実施するとともに、その結果に基づき需要が拡大するための工夫・改善をされたい。 ・工夫・改善に当たっては次の点も参考にされたい。 一定面積(例えば150㎡)以上の建物の場合には、飯田産材の使用を率ではなく、一定量以上を補助対象とする。補助対象となった建築に「認定証」及び「認定プレート」を贈呈し、掲示の協力を依頼し、周知、啓発をはかる。補助率を引き上げ、より建築主にメリットがある事業とする。
観光誘客宣伝事業	29-2	やり改善 方	・観光内容、目的に沿ったプロモーションになっているか検証するとともに、さらなる民間委託による専門性の発揮を検討されたい。 ・飯田の特性を生かした新たな観光コンテンツを創造されたい。 ・SNSを利用した観光誘客コンテンツづくり、情報発信者の育成、交流の場づくりを進められたい。また、Wi-Fiステーションマップを作成し市のHPなどで確認できるようにされたい。
地場産業等振興事業	30-6	現状維持	・産業支援機関として、費用対事業効果の徹底検証を行われたい。 ・専門コーディネーター、アドバイザーの確保に努められたい。

平成26年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【産業建設委員会】

施策・事務事業の区分 施策名及び事務事業名	No.	事の 務方 事向 業性	施策及び事務事業に対する議会の提言
新しい力による新しい産業づくり	13		平成26年度の評価結果は、事務事業の評価が「計画どおり取り組めた」施策全体の評価が「進んだ」となっているが、航空宇宙産業クラスター事業は本格稼働には至っていない、他の産業クラスター事業についてはまだこれからといったところ。また、起業家発掘事業は最終的には実績には至らなかった点などから、それほどまでには進んでいないと認識する。 ・産業用地の整備に当たっては、募集する事業所のコンセプトの統一や高速交通網が整備されることを見据えた情報産業などの企業の選定に配慮すること。また、環境に配慮した企業の選定も考慮されたい。 ・工場等の跡地や空き家となった工場などを産業用地として検討すること。 ・起業の支援に重点的に取り組まれたい。 ・南信州・飯田産業センターの移転に当たっては、検証作業を行うとともに、機能の充実などよりよいものになるよう検討されたい。 ・飯田型ツーリズムは、ライバル自治体の増加により厳しい状況にあり、アフターフォローを徹底し、体験者側から見て魅力あるメニューの開発を行われたい。
農業法人誘致・設立促進事業	26-23	拡大	・遊休農地活用、耕作放棄地の解消、農地利用集積円滑化、農業担い手誘致、新規就農者支援、そしてこの事業、さらに農業新分野創出・6次化事業、農業振興センター事業は、一連の流れの中の事業展開であって、相互の事業連携が必要となる。「総合的な相談・対応」が必要で、事業全体を組み立て直されたい。 ・参入法人の発掘のため、直接訪問やヒアリングを強化されたい。
農業新分野創出・6次化推進事業	26-28	やり 改善 方	・新しい取り組みであり、当面の間はハード、ソフト両面に対し市の積極支援を行われたい。 ・人材育成のためのセミナー、参加者のアフターケアをしっかりと行われたい。 ・当事業の推進に当たっては、農業法人誘致や設立促進を図られたい。
広域連携による観光誘客事業	29-22	やり 改善 方	・リニア・三遠南信時代を見据え、魅力あるエリアや周回ルートを明確にした事業転換を図られたい。
地域産品ブランド化事業	30-20	やり 改善 方	・新たなブランド品発掘のためのプロモーションの仕組みづくりを検討されたい。 ・飯田市産業親善大使が縦横無尽に活躍できるよう、市も積極的に取り組まれたい。

平成26年度決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【産業建設委員会】

施策・事務事業の区分		No.	事 の 務 方 向 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
施策名及び事務事業名				
交通機関と道路の充実		44		○取組みに対して概ね評価する。 ・道路の維持管理は、財源の経年変化、国の考え方の変化を考慮するとともに、公共施設等総合管理計画の策定に併せて「短中長期の維持補修計画」を早期に策定されたい。その上に立って、必要な財源の確保に努められたい。 ・リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の関連道路整備については、国や県からの交付金を積極的に確保し早期実現に努められたい。 ・公共交通の充実は、「コンパクトな都市づくり」の重要施策であり、市民の利用度が高まるよう努められたい。
活気ある街づくりの推進		84		○りんご並木の活性化だけでなく中心市街地全体を対象として、人や物が集まり活気に満ちあふれるような街づくりが必要と考える。個々の課題認識や方向性は概ね正しい。 ・第2期飯田市中心市街地活性化基本計画の中で特に未成熟であった事業については、具体化に向けて検討されたい。 ・中心市街地は、南信州定住自立圏の中心核としての顔と機能を持つため、整備においては民間活力やデザインコンペなど外部有識者からの意見も取り入れ、緑化を進め散策の楽しめる環境文化都市に相応しい街づくりを推進されたい。
評価対象数	施策	5		
	事務事業	14		
	計	19		